

多目的屋内施設整備基本計画 新旧対照表

1 表現の見直しによる修正・追記

(下線部は修正・追記部分)

該当箇所	修正前（令和5年8月18日公表時）	修正後（令和5年10月4日公表時）
<p>第8章 整備及び維持管理・運営方式 8. 4 PFI方式導入の適性評価及び課題の抽出 (2)定量評価 P.110</p>	<p>本事業における PFI 方式による財政負担の軽減効果について、概算事業費及び収支シミュレーションをもとに、本事業に PFI 方式（BTO）を導入した場合の VFM の算定を行いました。その結果、PFI 方式においては、約 7.7% の VFM が見込まれる結果となり、PFI 方式を導入した際に一定の費用削減効果が見込まれます。効果的に財政負担の軽減を図るために、本施設及び公園施設のどの部分にどの交付金を活用するのか、また、地方創生応援税制など民間資金活用の可能性も含めて検討することが重要です。</p>	<p>PFI 方式による財政負担の軽減効果について、<u>本施設が本事業の大部分を占めることから、概算事業費等をもとに本施設に PFI 方式（BTO）を導入した場合の VFM の算定を行いました。その結果、PFI 方式においては、約 7.7% の VFM が見込まれる結果となり、PFI 方式を導入した際に一定の費用削減効果が見込まれます。</u><u>この結果から、本事業全体の VFM も十分に効果が見込まれるものと考えます。</u>効果的に財政負担の軽減を図るために、本施設及び公園施設のどの部分にどの交付金を活用するのか、また、地方創生応援税制など民間資金活用の可能性も含めて検討することが重要です。</p>